

日本口蓋裂学会 Japancleft 委員会主催
口蓋裂言語評価セミナー：標準化と共通理解を目指して
「今、世界に目を向けよう！」
ご案内と申込方法

口唇裂・口蓋裂治療の質向上を目指して Eurocleft, Eurocran, Americleft など世界各地で多施設共同研究が進められています。2009 年に発足した日本口蓋裂学会 Japancleft 委員会は治療結果の標準的な評価方法を提案することを目的として活動を続けています。これまでに、委員会主催で矯正治療のアウトカムを評価する GoslonYardstick や 5 years index の講習会を実施し、多くの方々にご参加いただきました。

今回は欧米において言語評価の標準化に尽力されたお二人の先生をお招きし、口蓋裂言語評価セミナーを開催する運びとなりました。この機会に、海外における口蓋裂言語評価の動向を知り、我が国においても国内外で言語のアウトカムの情報を共有できる標準的評価方法を模索したいと思います。また、口蓋裂治療チームの矯正歯科、小児歯科、口腔外科、形成外科、耳鼻科の先生方にも口蓋裂言語評価をご理解いただくために、まず日本語で概要を説明するプログラムを設けました。多くの方々のご参加をお待ちしております。

講師：Dr. Debbie Sell (Speech Research Fellow, Great Ormond Street Hospital, London) 英国において多施設あるいは多職種間で共有できる標準的評価基準 (The Cleft Audit Protocol for Speech: CAPS) の作成に携わり、Eurocran や Americleft など世界各国に拡大している。

Dr. Triona Sweeney (Clinical Specialist Speech & Language Therapist, Children's University Hospital, Dublin) CAPS-A を運用し評価の信頼性を高めるためのトレーニング方法を開発された

プログラム

2015 年 1 月 31 日（土）東大病院中央診療棟 II 7F 会議室

10:00-12:00 (言語聴覚士対象)

英国における口蓋裂言語の標準的治療結果報告システム CAPS-A について：
理論的根拠と開発の概要

CAPS-A と日本のパラメータ、評価尺度、スピーチサンプルの比較

13:00-15:00 (言語聴覚士対象)

評価方法のトレーニングと信頼性について

多言語間での評価

15:00-16:40 (口蓋裂治療に関わる矯正歯科医、小児歯科医、口腔外科医、形成外科医、

耳鼻科医対象)

口蓋裂言語評価の概要 (日本語による解説)

18:00-20:00 懇親会 東大病院 15F ブルークレール精養軒

2月1日 (日) 東京大学本郷キャンパス内 山上会館

9:00-10:00 (全ての職種対象)

スピーチの治療結果の評価：最近の国際的動向

10:30-12:00 言語評価方法の標準化—何故標準化が必要か？どのように標準化するか？

13:00-14:00 言語評価の信頼性、合意、妥当性に関する問題

14:00-15:00 ディスカッション 今後に向けて

申込方法

以下の項目をご記入の上、メールアドレス cleftspeech@outlook.jp までお申込み下さい。

- ① お名前
- ② 職 種
- ③ ご所属
- ④ 連絡先メールアドレス (基本的に連絡はメールにてさせて頂きます)
- ⑤ 連絡先電話番号 (当日の急な連絡先)
- ⑥ 参加プログラム (a~d のうち参加されるプログラムをご記入下さい)

1月31日 (土)

- a. 言語聴覚士対象のプログラム
- b. 歯科医、口腔外科医、形成外科医、耳鼻科医のためのプログラム
- c. 懇親会

2月1日 (日)

- d. 全ての職種向けプログラム

参加費：セミナー参加費 6000 円

懇親会参加費 3500 円

※参加費は事前にお振込みをお願いします。お申込み頂きましたら返信メールにて振込先・お振込金額を連絡させて頂きます。尚、振込手数料は各自ご負担頂きますようお願い申し上げます。

申込み締切：2015年1月16日 (金曜日)